

事務事業 No./名称	■サービス部門 こども-19 育児家庭支援事業				タイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門				1222	育児家庭支援事業	
主管課	こども相談課		関連課				
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	市民同士による相互援助活動(ファミリーサポートセンター事業)を通じて、 育児・介護の支援充実を図る。						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
	2,514人	2,280人					
運営資源 状況	決算値	8,467千円	8,427千円		指標と評価		
	(国・県)	8,467千円	7,853千円		指標	支援会員数及び依頼 会員数	
	(負担金等)				評価	○	
	(一般財源)		574千円		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人員配置数	0.5人	0.5人			目標値	実績値
	人件費	4,652千円	4,812千円		20年度	2,120	2,280
	協働の パートナー	NPO法人鎌倉市ファミ リサポートセンター市 民会議	NPO法人鎌倉市ファミ リサポートセンター市民会議		21年度	2,120	2,514
事務事業 運営経費	総事業費	13,119千円	13,239千円		22年度	2,120	
	市民1人当 りの経費	74円	75円		23年度	2,120	
	対象者1人 当りの経費	5,218円	5,807円		最終年度 (年度)		
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・ファミリーサポートセンター事業の支援会員を増やし、支援会員の資質の向上を図り、様々なニーズ に対応できる体制づくりが必要であった。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・ファミリーサポートセンター支援会員研修会実施について支援を行い、支援会員の資質の向上を 図った。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 支援会員の負担感が重くなり、活動を休眠する支援会員もいるため、支援会員の負担感の軽減及び 稼働率の向上を図ること。					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 子育て支援の推進を目指し、活動を休眠する支援会員が負担感なく活動できるよう、自宅以外の場 所での複数児童預かり等、新しい視点での事業手法を検討していく。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性			評価結果	改善の必要性		
A	有	育児支援を依頼する会員の増加に対 応するため、支援会員の増加等事業 の拡充を図る。		A	有	ファミリーサポートセンターに求めら れるニーズを整理し、ファミリーサ ポート事業の充実を図る。	
課長名		田中 誠也		部名・部長名		佐藤 尚之	